

沖縄県首里城破損瓦等活用事業事務局 御中

破損瓦等活用事業の認定申請書

首里城火災で破損した赤瓦、石材等（以下、「破損瓦等」という。）について、下記のとおり活用したいので、破損瓦等の提供について申請します。

申請者	(ふりがな) 氏名	印		
	住所	〒 —		
	電話	( ) —		
	メール	@		
事業名称				
事業概要	目的			
	具体的な活用方法			
	実施場所			
	実施期間	~ 年 月 日	実施人数	人
希望数量	種類	数量		
		(大)	(中)	(小)
	1. 平瓦	個 袋	袋	袋
	2. 丸瓦	個 袋	袋	袋
	3. その他（軒瓦等）	個 袋	袋	袋
	4. 磚瓦	個 袋	袋	袋
	5. 石材	(砂岩)		(琉球石灰岩)
個		個		

※破損瓦等の大きさは別紙画像を参照願います。

※審査の結果、提供に必要な破損瓦等の数量が、準備した総量を超えた場合は希望の数量を提供できない場合があります。

沖縄県首里城破損瓦等活用事業事務局 御中

実施計画書

実施体制	
実施スケジュール	
破損瓦等の受渡 希望日	
収支計画 ※営利を主目的とし ないこと	
※その他参考資料があれば添付して下さい。	

沖縄県首里城破損瓦等活用事業事務局 御中  
氏名

破損瓦等活用実施報告書

首里城火災で破損した赤瓦、石材等について、下記のとおり活用しましたので報告します。

事業名			
内容			
	実施場所		
	実施期間		実施人数
写真画像	※別に添付し、各画像に名前を付けること。		
	県のホームページで公開が可能な写真を添付してください。		
補足資料	有・無	(○で囲む) ※必要に応じ補足資料を添付すること。	
連絡先	(ふりがな)		
	氏名		
	電話	( )	—
	メール	@	

沖縄県首里城破損瓦等活用事業事務局 御中

## 破損瓦等活用事業の認定申請書

首里城火災で破損した赤瓦、石材等（以下、「破損瓦等」という。）について、下記のとおり活用したいので、破損瓦等の提供について申請します。

申請者	(ふりがな)	しゅり たろう			
	氏名	首里 太郎		印	
	住所	〒111-1111 那覇市〇〇1-1			
	電話	(098) 1111 - 1111			
メール	syurita111		@	okinawa.jp	
事業名称	漆喰シーサーづくり				
事業概要	目的	赤瓦を使って沖縄の守り神であるシーサーを作ることで首里城の想いを共有する。			
	具体的な活用方法	地域の子どもたちを対象に、シーサーづくりのワークショップを開催する。子供はもちろん親子で楽しく作ることができるよう貝がらや琉球ガラスなどの装飾も使用し、オリジナルのシーサーができるようなワークショップを開催する。 <b>※利活用認定判定の基準にいたします。</b>			
	実施場所	〇〇公民館			
	実施期間	令和4年2月5日	実施人数	50 人	
希望数量	種類	数量			
		(大)	(中)	(小)	
	1. 平瓦	個	袋	3 袋	3 袋
	2. 丸瓦	個	袋	袋	袋
	3. その他（軒瓦等）	2 個	袋	袋	袋
	4. 磚瓦	個	袋	袋	袋
5. 石材	(砂岩)		(琉球石灰岩)		
	個		個		

※破損瓦等の大きさは別紙画像を参照願います。

※審査の結果、提供に必要な破損瓦等の数量が、準備した総量を超えた場合は希望の数量を提供できない場合があります。

沖縄県首里城破損瓦等活用事業事務局 御中

実施計画書

<p>実施体制</p>	<p>ワークショップを2回実施。 1回あたり10組の親子を募集し講師2名、アシスタント2名で指導する。</p>
<p>実施スケジュール</p>	<p>参加者募集：1月中 (公民館だより、市の広報誌など無料掲載できるツールの活用。小学校への呼びかけ等) 材料等準備：1月下旬 実施：2月5日(土) 午前・午後の2回 イベント実施にあたっては、3密にならないよう注意する。</p>
<p>破損瓦等の受渡希望日</p>	<p>令和4年1月27日(木)</p>
<p>収支計画 ※営利を主目的としないこと</p>	<p>&lt;収入&gt; ・参加費 30,000円 (1,500円×10組×2回) 計 30,000円 &lt;支出&gt; ・広報費 1,000円 (チラシ等印刷) ・材料費 20,000円 ・会場使用料 0円 (公民館で開催) ・保険料 5,000円 (イベント保険料) ・交通費 4,000円 (講師等の交通費) 計 30,000円  収入 - 支出 = 0</p>
<p>※その他参考資料があれば添付して下さい。</p>	